



校訓
自主
創造
協力



令和3年11月12日(金)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

授業づくり共同研究動画撮影がありました

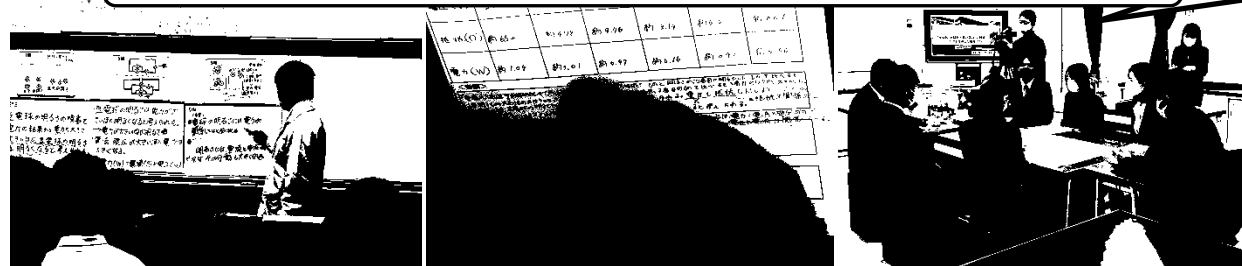
11月10日(水)5・6校時に2年2組(理科室)で授業の動画撮影が行われました。これは、本校が指定されている北九州市教育委員会の「授業づくり共同研究校」としての成果発表の場です。この「授業づくり共同研究」は、子どもたちにとって「わかる授業づくり」を目指し、その成果を全市教員に発信するというものです。つまり、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる授業を目指していくものです。(今回は理科なので)尾倉中学校の生徒が「理科が勉強が好きになる授業」「理科が分かる授業」の構築を目指すとともに、私たち教師が、自分の授業を振り返りながら、よりよい授業を目指し、生徒に還元していきたいと考えています。

2年2組の生徒は、長時間にわたる撮影でしたが、一人一人が授業に真剣に取り組み、実験はもちろん、個人の考察、話し合う活動、振り返り、まとめなど本当に頑張っていました。すばらしい!

この日の授業の主眼は、「豆電球の明るさが何と関係するのか調べる実験を行い、その結果を分析し解釈することを通して、豆電球の明るさと電力の関係性を見いだして表現している」です。あわせて、本時においてはGIGA端末(SKY MENU Cloud)を活用しました。



カメラが4台あって少し緊張気味ですが、みんな頑張って取り組んでいます!



☆授業の流れは以下のようになります。

	主な学習活動	○ 指導上の留意点【観点】評価規準(評価方法) ● 特別な教育的支援を要する生徒への特に困難とされる場面での支援のポイント
導入	1 前時に立案した実験の予想を GIGA 端末を用いて振り返り、本時に行うことを確認する。	主前時の立案した実験を GIGA 端末を使って班で確認させ、本時に何を調べるのか見通しをもたせる。 ○黒板に予想した回路を貼り、どのような回路を組むのか想起させる。
	めあて 豆電球の明るさの違いが何に関係しているか見付けよう	
展開	2 それぞれの班が立案した実験方法で回路の電流、電圧の大きさはかる。 (1) 電流と電圧の値を測定する。 (2) 豆電球の明るさと電流、電圧、電力、抵抗の値を比べる。 3 個人で考察を考える。 4 個人で考えた考察を班で共有し、対話を通して考えを深める。 ○GIGA端末を使って全体で意見を共有する。 ○班で導き出した考察を、ホワイトボードに記入し、各班発表する。 5 話し合い活動を経て、個人の考察の修正を行う。	○ 考察の時間を確保するために、つなぎ方が簡単なデジタルの電流計、電圧計を使う。 ○豆電球の明るさが何に関係しているのかを調べるために、どの実験の結果が必要か各自で考え選択させる。 ○他の実験についても調べることができるよう、道具を準備する。 ○豆電球の明るさと電流、電圧、電力、抵抗の値を比較するように説明する。 ○それぞれの回路の豆電球の明るさが比較しやすいように、結果の表に豆電球の明るさの順番を記入させる。 ● 支援が必要な生徒には、スカイメニュークラウドを使って、図や写真などのヒントカードを個別に送る。 対GIGA端末のスカイメニュークラウドの発表ノートを活用し、「グループ機能」を使って、全員の考察を共有し、多様な意見に触れさせる。★活用場面3 ○各班のホワイトボードを教師がGIGA端末のカメラ機能で撮影し、テレビにうつす。 対 個人の考察→全員と考察を共有する→話し合い活動により1つの考察を導き出すというスモールステップで考察を行わせる。 深 考察の修正を行わせる場面を設定することにより、自分の考えの深まりを実感させ、より深い学びを促す。 ○電流や電圧の値が一定でない場合はどうなるか考えさせることにより、電流と電圧両方に関係あることを見いださせる。 【思】豆電球の明るさが何と関係するのか調べる実験を行い、その結果を分析し解釈することを通して、豆電球の明るさと電力の関係性を見いだして表現している。(ワークシート)
終末	6 本時のまとめを行う。	○まとめの際にいくつかのキーワードを生徒に発言させ、生徒の言葉でまとめる。
	まとめ 豆電球の明るさは電力に関係している	
	7 本時の振り返りを行う。	

先生たちも放課後、授業のふりかえりを行いました。

